

# **dji** MINI 2

## 免責事項と安全に関するガイドライン

v1.0 2020.11



## 安全についての概要



DJI™ Mini 2 は玩具ではありません。また、16 歳未満の方を対象としていません。

### 1. 環境に関する考慮事項

- 磁気干渉や無線干渉、建物やその他の障害物のない環境でのみ飛行させてください。大勢の人が集まっている場所の上空やその付近では飛行させないでください。
- 機体は、必ず海拔 3,000 m 未満で飛行させてください。
- 気温 0 ~ 40 °C の穏やかな気象条件で飛行させてください。
- 飛行承認区域でのみ飛行させてください。詳細については、規制と飛行制限のセクションを参照してください。
- 屋内を飛行させる場合は、機体のスタビライズ機構が阻害されることがあるため注意してください。

### 2. フライト前チェックリスト

- 送信機と機体のバッテリーが完全に充電されていることを確認してください。
- 飛行前に必ず機体のアームが完全に展開されていることを確認してください。バッテリーカバーがロックされ、インテリジェント フライト バッテリーがしっかり取り付けられていることを確認してください。
- 機体の電源をオンにする前に、必ずジンバル プロテクターを取り外してください。
- プロペラが良好な状態であることを確認してください。各飛行の前に、プロペラをマークの有無に従って、対応するモーターに取り付け、しっかり締められていることを確認してください。
- モーターに障害がないか確認してください。
- カメラレンズおよびセンサーが清潔で、汚れがないことを確認してください。
- DJI Fly アプリのフライト前チェックリストの手順を必ず完了してください。初めて Android モバイル端末を送信機に接続するときは、プロンプト表示時にデフォルト接続設定を選択してください。
- DJI Fly アプリと機体のファームウェアが最新バージョンに更新されていることを確認してください。
- 選択したフライトモードに習熟し、全ての安全機能と警告を理解しておいてください。

### 3. 操作

- 回転しているプロペラから離れてください。
- 常に、機体を目視できる範囲 (VLOS) で操作してください。
- 最適な性能のため、使用中には送信機の充電を行わないでください。
- 飛行中は、電話に出たり、メールに返信するなど、機体を制御するスマートフォンの操作の妨げになる行為を行わないでください。
- 飲酒または服薬時には、飛行させないでください。
- 水や雪などの反射面の近くでは、ビジョンシステムの性能が影響を受けることがあるため、飛行しないでください。GPS 信号が弱い場合は、照明と視界が良好な環境でのみ機体を飛ばしてください。
- ローバッテリー警告や強風警告が出ている場合は、機体を安全な場所に着陸させてください。
- 機体は、Return-to-Home (RTH) 中に障害物を回避することはできません。RTH 中に墜落を回避するためには、送信機の操作スティックを使って機体の速度と高度を制御してください。
- パイロットは飛行中は常に注意を払い、機体を制御しなければなりません。周囲環境のどの障害物よりも高い高度に RTH 高度を設定するには、DJI Fly を使用してください。
- フライトコントローラーが飛行中に深刻なエラーを検知したときに限り、モーターを CSC (コンピネーションスティックコマンド) で停止してください。

## 免責事項および警告

本製品は玩具ではなく、16歳未満の方の利用は前提としていません。機体はお子様の手が届かない場所に保管してください。また、お子様がいてる場所で機体进行操作する場合は十分に注意してください。

本製品の不適切な使用により、傷害や物的損害を引き起こすおそれがあります。本製品を初めて使用する前に、本製品に関連する資料をお読みください。これらの文書は本製品パッケージに同梱されていますが、オンラインのDJI製品ページ (<http://www.dji.com>) でも入手できます。

本製品は、以下のように正常に操作できる状態であれば、簡単に飛行させることができる空撮カメラです。最新の注意事項と警告については、<http://www.dji.com> をご覧ください。安全な飛行と法令順守の詳細については、<https://www.dji.com/flysafe> をご覧ください。

本書では、ユーザーの安全および法的権利と責任に関する情報を記載しています。ご使用前に、本書の内容をよくお読みいただき、確実に適切な設定を行うようにしてください。本書に記載されている手順と警告を正しく理解し従わなかった場合、機体の損失を引き起こしたり、ご自身の重傷や、機体の損傷を引き起こすおそれがあります。

本製品を使用することにより、お客様は本書の免責事項をよく読み、記載されている利用規約を理解し、順守することに同意したとみなされます。DJIアフターサービスポリシー (<http://www.dji.com/service> に掲載) に明示的な規定がない限り、本製品およびすべての資料、本製品を通して得られるコンテンツは「現状のまま」および「提供されているまま」で提供され、明示、黙示を問わず、いかなる種類の保証も条件も伴いません。明示、黙示を問わず、DJIアフターサービスポリシーに明確に規定されない限り、製品、製品アクセサリ、すべての資料に関し、DJIは以下を含む、いかなる種類の保証も一切行いません。(A) 商品性、特定目的の適切性、権限、平穏享有権、非侵害に対する黙示保証、および (B) 取引の過程、使用、商習慣から生ずる保証。DJI限定保証に明示的な規定がない限り、製品、製品アクセサリ、製品の一部、資料が、中断されることなく、安全で、エラー、ウイルス、その他有害な部品がないことを、DJIは保証しません。また、それらの問題の修正も保証しません。

本規約に明確に記載されない限り、口頭であれ書面であれ、本製品、製品アクセサリ、資料から得られる助言や情報により、DJIまたは本製品に関する保証は発生しません。本製品、製品アクセサリ、資料の使用またはアクセスに起因するあらゆる損害に対するすべてのリスクは、お客様が負担するものとします。お客様の裁量とリスクにおいて本製品を使用し、けが、死亡、お客様の財産への損害（本製品と接続して使用したコンピュータシステム、モバイル端末、DJIハードウェアを含む）、サードパーティの財産への損害、本製品の使用による、あるいは使用不能によるデータの損失に対して、お客様が単独で責任を負うことについてお客様は理解し、合意するものとします。

保証の免責を認めない司法管轄区もあり、司法管轄区によってはお客様が別の権利を有する場合もあります。

本製品の使用により直接または間接的に発生する損害、傷害、およびその他法的責任に対して、DJIは一切責任を負いません。お客様は、これらの安全ガイドラインの規定をはじめとする、安全で合法的な使用方法を順守するものとします。

## データの保管と使用法

ユーザーは、当社のモバイルアプリ、製品、その他のソフトウェアの使用、フライトテレメトリデータ（速度、高度、バッテリー駆動時間、ジンバルカメラに関する情報）や操作記録など、製品の使用と操作に関するデータをDJIに提供する場合があります。詳細については、DJIのプライバシーポリシー ([dji.com/policy](http://dji.com/policy) に掲載) を参照してください。

DJIは、この免責事項と安全に関するガイドラインを更新する権利を留保します。定期的に [www.dji.com](http://www.dji.com) にアクセスしたり、Eメールを確認したりして最新バージョンを取得してください。この免責事項は、複数の言語で提供されています。言語版によって相違がある場合には、英語版が優先されます。

## 用語集

本書では、以下の用語を使って、製品操作時に起こりうる危険のレベルを示しています。

**注意** 正しい手順に従わない場合、物的損害が発生する可能性があります。負傷の可能性は全くないが、あってもごく軽微です。

**危険** 正しい手順に従わないと、物的損害、付随的損害、および重傷の可能性があるが、その確率が高くなります。

# インテリジェント フライトバッテリー 安全ガイドライン



1. バッテリーは液体類に触れないようにしてください。バッテリーを雨にさらしたり、湿気の多い場所に放置したりしないでください。バッテリーを水中に落とさないでください。バッテリー内に水が入ると、化学分解が発生し、バッテリーが発火したり、爆発につながったりするおそれがあります。
2. DJI 製でないバッテリーや充電器は使用しないでください。新しいバッテリーや充電器を購入するには、[www.dji.com](http://www.dji.com) にアクセスしてください。DJI 製でないバッテリーや充電器に起因する損害に対して、DJI は一切責任を負いません。
3. バッテリーに膨張、漏れ、損傷がある場合は使用、または充電しないでください。バッテリーに異常がある場合は、DJI または DJI 正規代理店にご連絡ください。
4. バッテリーは、0°C ~ 40°C の気温で使用してください。50°C を超える環境でバッテリーを使用すると、火災や爆発につながるおそれがあります。0°C 以下でバッテリーを使用すると性能が著しく低下します。
5. いかなる方法でもバッテリーの分解や穴あけを行わないでください。バッテリーの液漏れ、発火、爆発が起こるおそれがあります。
6. バッテリーの電解液には非常に高い腐食性があります。電解液が皮膚に触れたり、眼に入った場合には、ただちに水で洗い流して、すぐに医師の診察を受けてください。
7. バッテリーが発火した場合には、砂や乾燥粉末消火剤を使って消火してください。
8. バッテリーはお子様やペットの手の届かないところに保管してください。
9. 墜落や激しい衝撃を受けた場合には、バッテリーを使用しないでください。

## 注記

1. バッテリー残量インジケータを定期的に確認して、現在のバッテリー残量を確認してください。バッテリーの定格は 200 サイクルです。200 サイクル以上の使用は、推奨していません。
2. バッテリーを 10 日以上使用しない場合は、40 ~ 60% まで充電してください。これにより、バッテリー駆動時間を大幅に延長することができます。
3. 長期間保管する場合には、機体からバッテリーを取り外してください。
4. バッテリーが完全に充電されたら、バッテリーを充電装置から外してください。
5. バッテリーパックルにのみみや汚れが付かないように、バッテリーは清潔な環境に保管してください。
6. 清潔な乾いた布でバッテリー端子を清掃してください。

## フライトの必須条件



機体は、良好または穏やかな気象条件で正常に動作するように設計されています。墜落、重傷、物的損害を回避するため、以下の規則を順守してください。

1. 悪天候時に機体を使用しないでください。悪天候とは、風速 10 m/s 超、雪、雨、スモッグ、強風、霰、雷、竜巻や台風などです。
2. GPS 信号が弱い場合、または高層階のバルコニーから機体を飛行する場合など、地上レベルに大きな変化がある場合は、機体を操作しないでください。そうしないと、測位が妨げられ、飛行の安全性が損なわれる可能性があります。
3. 機体を海拔 3,000 m 以上で、飛行させないでください。機体を 0°C 未満または 40°C を超える温度環境下で飛行させないでください。そのような環境では、機体の推進システムの性能が制限され、飛行安全性に影響が出る恐れがあります。
4. 車、船、飛行機などの動いている物体から離陸させないでください。そのような状況で離陸させた場合、機体が異常な動作をして、事故を引き起こすおそれがあります。
5. 砂漠や砂浜から離陸させる場合は、機体に砂が入ると飛行性能に影響するおそれがあるため、注意してください。そのような場所から離陸する場合は、ドローン ランディング パッドの使用を推奨します。

## 注記

1. 飛行は周囲が開けた屋外でのみ行ってください。高層ビル、鉄骨の建物、山や木々はコンパスや GPS 信号の正確性に影響を及ぼすおそれがあります。
2. 送信機と他の無線機器との干渉を避けてください。モバイル端末の Wi-Fi を必ずオフにしてください。
3. 磁性干渉や無線干渉のある地域周辺を飛行しないでください。こうした地域には、Wi-Fi ホットスポット、ルーター、Bluetooth デバイス、高電圧線、大規模送電局、伝送局、モバイル基地局、放送塔などの近くがありますが、これらに限定されません。磁性干渉や無線干渉のある地域で使用すると、本製品の伝送品質の低下、送信機および動画伝送エラーが発生するおそれがあり、その場合、飛行方向と位置精度に影響することがあります。過度な干渉がある地域では、機体が異常な動作をしたり、制御できなくなったりすることがあります。

## 規制と飛行制限

### 規制



深刻な怪我や物的損害を回避するため、以下の規則を順守してください。

1. 高度に関係なく、有人の航空機周辺で機体を操作しないでください。必要であれば、速やかに着陸させてください。
2. スポーツイベントやコンサートなど、大規模なイベントが開催されている場所で機体を飛行させないでください。
3. 現地の法律で禁止されている場所で機体を飛行させないでください。
4. 認可を受けた高度を超えて機体を飛行させないでください。

### 飛行制限

## 注記

DJI は、飛行安全性に真剣に取り組み、ユーザーがより安全に飛行できるように様々な補助ツールを開発しています。これらの補助ツールは、適用されるすべての法律、規制、および一時的な飛行制限への順守を保証するものではありません。DJI の機体の飛行に関し、すべての行為は全面的にユーザーの責任となります。

ファームウェアを最新バージョンに更新して、以下の機能がすべて更新されていることを必ず確認することを推奨します。

### GEO 区域

すべての GEO 区域は、DJI 公式ウェブサイト <http://www.dji.com/flysafe> に一覧表示されています。関連する法律、ポリシー、および規制に従い、一部の GEO 区域は DJI ウェブサイトの地図に表示されません。有効な GEO 区域をすべて表示した地図については、DJI Fly アプリを参照してください。

### 高度制限

高度 120 m\* より上空には飛行させないでください。また、周辺の障害物からは安全な距離を確保してください。

\* 飛行高度の制限は地域によって異なります。現地の法律および規制が定める最大高度を超えて飛行させないでください。

## 仕様

機体 (モデル: MT2JD)	
離陸重量	199 g
最大飛行時間	18 分 (無風、定速 17 km/h の状態)
動作環境温度	0°C ~ 40°C

動作周波数	2.400 ~ 2.4835 GHz、5.725 ~ 5.850 GHz (日本国内は 2.400 ~ 2.4835GHzのみ利用可)
伝送電力 (EIRP)	2.4 GHz: $\leq 26$ dBm (FCC), $\leq 20$ dBm (CE/SRRC/MIC (日本)) 5.8 GHz: $\leq 26$ dBm (FCC/SRRC), $\leq 14$ dBm (CE)
<b>カメラモデル</b>	
センサー	1/2.3 インチ CMOS、有効画素数: 12M
レンズ	FOV: 83° 35 mm 判換算: 24 mm 絞り: F2.8 フォーカス範囲: 1 m ~ $\infty$
ISO レンジ	100 ~ 3200
電子シャッター速度	4 ~ 1/8000 秒
最大静止画サイズ	4:3 アスペクト比: 4000 × 3000 16:9 アスペクト比: 4000 × 2250
動画撮影モード	4K: 3840 × 2160 24/25/30p 2.7K: 2720 × 1530 24/25/30p FHD: 1920 × 1080 24/25/30/48/50/60p
<b>送信機 (モデル: RC231)</b>	
動作周波数	2.400 ~ 2.4835 GHz、5.725 ~ 5.850 GHz (日本国内は 2.400 ~ 2.4835GHzのみ利用可)
最大伝送距離 (障害物、電波干渉のない場合)	FCC: 10 km、CE/SRRC/MIC (日本): 6 km
伝送電力 (EIRP)	2.4 GHz: $\leq 26$ dBm (FCC), $\leq 20$ dBm (CE/SRRC/MIC (日本)) 5.8 GHz: $\leq 26$ dBm (FCC/SRRC), $\leq 14$ dBm (CE)
動作電圧	1200 mA @ 3.7 V(Android); 700 mA @ 3.7 A (iOS)
<b>インテリジェント フライトバッテリー</b>	
容量	1065 mAh
バッテリータイプ	LiPo 2S
充電温度	5°C ~ 40°C
最大充電電力	18 W

This content is subject to change.

Download the latest version from  
<https://www.dji.com/mini-2>

DJI is a trademark of DJI.  
 Copyright © 2020 DJI All Rights Reserved.



3Q4DM2DS05JP